

「エネルギーグループ知的財産報告書（2013年2月）」の概要

○ 要約（3～4頁）

当社グループの知財活動の全体像を概観していただけるよう、本報告書の要旨をまとめた「要約」を冒頭の見開きに設けました。

○ 特集（5～17頁）

お客さま意識調査や、これまで当社に寄せられたお客さまの声の中から、ご意見やご要望の多い6つのテーマを選定し、そのテーマに関連した研究・開発等の成果とその知財化について、事例を紹介しています。

テーマ	紹介している成果や事例（抜粋）
コスト低減に向けた取り組み	<p>【設備投資の削減】 発電所建設時の工期短縮およびコスト低減を実現した工法</p> <p>【業務運営の効率化】 少人数での安全・効率的な通信設備点検を可能にした装置</p>
原子力発電の安全確保の取り組み	<p>【設備の安全確保】 発電所構内の防波壁をより強固にするための構造</p>
安定供給に向けた取り組み	<p>【変電設備監視の効率化】 変電所に設置された複数の遮断器の不調を一括監視する装置</p> <p>【災害復旧作業の支援】 設備被害状況等をITを活用し迅速に把握するシステム</p>
省エネルギー普及・促進 および再生可能エネルギー 拡大への取り組み	<p>【エネルギーの有効活用】 含水率の高いバイオマスを有用なエネルギーに変換する技術</p> <p>【エネルギーの効率的利用】 住宅のエネルギー管理（HEMS等）に対応した新型分電盤</p>
お客さまへのサービス向上 の取り組み	<p>【お客さま対応の高度化】 お客さまからのお申し出内容や対応履歴を一元管理するシステム</p> <p>【提案力の向上】 住宅リフォームの施工後イメージを立体CGで確認できるシステム</p>
環境問題への取り組み	<p>【発電効率の向上】 石炭火力発電の高効率化、クリーン化に資する技術</p> <p>【CO₂排出量の削減】 CO₂排出量を実質ゼロ以下にできる環境配慮型コンクリート</p>

○ 知財戦略推進の基本理念（18～23頁）

当社グループの経営ビジョンと知財戦略の関係、知財戦略推進の3つの基本理念、知財活動の実績等について紹介しています。知財活動においては、研究開発部門のみならず、営業所・発電所・電力所等の現業機関の社員も積極的に発明を創出しており、裾野の広い活動が展開されているのが特徴です。

知財活動の実績は「参考1」を参照ください。

○ 研究・開発への取り組みと当社グループの独自技術（28～33 頁）

「安全確保」を前提としたうえで「供給安定性」「経済性」「環境保全」を達成するための研究・開発戦略等を紹介しています。

○ 特許群の事業への貢献（34～36 頁）

当社グループの特許出願の目的，特許価値評価の考え方および算定結果，保有特許の事業貢献等を具体的な事例を交えて紹介しています。

当社保有特許の価値評価は「参考2」を参照ください。

○ CSRの取り組み（40～42 頁）

知財面でのCSRの取り組みとして，研究成果の社外活用を目的とした広報活動や教育支援等の地域貢献活動を紹介しています。また，当社が保有する特許権を活用した東日本大震災の復興支援について紹介しています。

○ その他

当社グループ社員の知財活動への思いを紹介する『Voice!』や，知財活動に関する豆知識を紹介する『知左エ門博士の知財こぼれ話!』を充実しました。